





中世
西史綱紀

五



控ハ開カ

横政ヲ以テ人民ノ權利ヲ抑壓スルモノヲ保防
 スルノ至要ナル一歎條ヲ之ニ加シテ
 然レモ自餘ノ佞倖ガベストシニ代テ義徳瓦ノ
 寵ヲ受ケシニ由リ諸侯兵ヲ起シテ義徳瓦ニ叛
 シモノ多シ義徳瓦ノ后イ依撒伯ラハ辨王ノ妹ニ
 シテ性頗ル浮薄ナリガ亦叛徒ニ成シ共ニ義徳
 瓦ヲ廢シテ牢獄ニ幽控シ一千三百二十七年
 之ヲ弑ス時ニ義徳瓦ノ三世年甫メテ十四ニシ
 テ位ニ即キ母后ニ横逆ノ下ニ居ルニ堪ヘズ命
 シテ母ヲシテ禁身禁錮セシメ其情人モ
 貌的來マ



英佛ノ戦

一、ラ刑ス義徳瓦自ラ軍勦シテ先世以來國民ノ
寛^{スル}枉^{スル}有^テ放^{スル}スル^ニ從^テ其^後蘇格蘭ヲ攻メ
ハ^リ邱^ニ於^テ蘇人ヲ破ル然レモ其兵ヲ固
一、千三百二十八年^ハ蘇人^ハ得^{タリ}タリ
斯、身四世死シ^テ其^子ハ^ハ末子ナル佛王查理
瓦、身三世及ビ^テ非立^ノ姪^ハハロイス侯^ニ並^ビ起
テ、佛王ノ位ヲ爭フ^ニ是^後數年ノ間兩國ノ^間戰連
續シテ止マズ、一千三百四十六年義徳瓦自ラ兵
ニ將トシテ佛蘭西ヲ攻ム其子義徳瓦時ニ年纔

二十五、豪^ト身^ト呼^ビル^ニ是
歳八月廿六日^ハ佛兵トクレシイニ戰テ大ニ之
ヲ破リ敵ヲ殺スト英軍ノ全數ヨリ多シク^レシ
イ、^ハ後^ニ蘇人義徳瓦ノ國ニ在ラ
サル^ニ時^ニ英倫ヲ攻メ^テガタル^ニ
於^テ戰敗シ其王^ハブルース^ニ爲^リ擄セテ
ル、時ニ一千三百四十六年十月十七日ナリ義徳
瓦カヲ尽シテ佛國ノ海港、カレースヲ攻メ終ニ
之ヲ降シ其後二百餘年ノ間此地英ノ所領トナ
リ存^ス是^レ也

八年ノ間西國戰ヲ罷メ佛王非立没シ其子約翰
位ヲ嗣ギテヨリ戰復起リシガ一千三百五十六
年英ノ黒太子ホイクタイルノ一戦ニ於テ佛法王
ヲ討テ大ニ捷ヲ獲テ其乱忽テ止ム佛王約翰擒
トナリテ龍動ニ護送セラレ英王之ヲ遇スル極
メテ厚シ然レモ佛國ニテハ農夫奴隸等國王
虐ニ乘ジ兵ヲ奉テ貴族ニ抗シ都城ノ沿郡ニ屯
集シ國內頗ル擾乱セリ然レテ約翰獨囚虜トナリ
テ英ニ在ルノ間ニ二國ノ人民一千三百六十年
ヲ以テブレテ子ニ命シテ盟約ヲ結ビ佛王ノ

囚虜ヲ解キ英王ハ佛王トシテ以テ諾耳曼的
及ビ北方ノ諸州ヲ得テ以テ之ヲカガ如キ期望ヲ棄
テ佛西南ノ全部即チ王國三分ノ一ヲ得テ西南
ニヨリロアルニ至ルマデノ地ヲ以テテ英王ニ附與
スベキヲ約ス英王此土地ヲ以テアウイテン國
トナシ其國政ヲ黒太子ニ委シ數年間ソノ政
廳ヲホルドウニ眞キタリニキ
英佛兩國ノ條約未ダ全ク信ヲ置キ難ク一千三
百六十八年戰鬪再起リ兩國紛擾ノ域ヲ入り
テ初メ此條約ノ定マリシ後頃刻ニ兩國内

間ノ形状大ニ變動アリ英王義徳凡年已ニ老ヒ
其子黒太子亦病ニ卧シ佛ヨリ得タル新版圖ノ
人民ハ心偏ニ舊主ニ帰ルヲ望ム之ニ及シテ
佛國ニテハ智慮アリテ民心ヲ得タル查理斯第
五世新ニ輕浮放縱ナル約翰ニ代リテ王位ニ登
ル是ヨリ佛國寸兵尺鉄ヲ用ヒズシテ漸次ニソ
ノ失ヒタル領地ヲ回復スルヲ得タリ唯國ノ咽
喉ナルボルトルトールバヨーンカレースブレスト及
ビチルボウルグハ猶英人ノ手ニ存セリ
一千三百七十七年英王義徳死シ黒太子ノ長

男年甫メテ十一ニシテ王位ヲ嗣グ之ヲ查理
二世トナス其後三年佛王查理斯第五世死シ其
子年亦終ニ十五ニシテ王位ヲ嗣グ之ヲ查理
六世トナス斯レテ兩國ノ君主共ニ稚弱ナルニ
由リテ國難沸騰シ人心頗ル洶々タリ佛國ニテ
ハ大臣政ヲ專ラニシ人民ヲ強虐シ且ツバルカ
ンデ及ビオールレアンヌノ二侯黨ヲ成シ迭ニ權
ヲ爭ヒ國內大ニ苦シ英國ニテモ同ク王ノ叔父
ナル蘭和斯德約克及ビグロウスタルノ諸侯政
權ヲ爭ヒ禍乱止ムトナシ一千三百八十一年巴

カ門ノ議定シタル、租税法不^{公平}ナリトテ、
鄰民賤夫自由^{民權}ノ叛旗ヲ掲^揚テ、鉄匠^{ワット}トシ
イレルセガ將トナリ、ソノ景況ハ、一千三百
五十八年、佛國ニ起リタル百姓一揆ニ髣髴
シタリ、蓋シ此二國ニ於テ、此等ノ支件ノ起ル
ハ、奴隸ノ漸ク自由ノ道ニ進^ミズ、長ク抑壓
ノ下ニ屈辱セラル、一テ知ルニ至リシ證跡ナ
リ、英倫ノ奴隸平^人一様同等ノ法ヲ行ヘ、奴隸ノ
役屬ヲ廢セン、一テ請ヒ、六万ノ衆ヲ集メ、ブラッ
ク・ヒースニ援リ、龍動ヲ襲^ヒテ、貴戚大臣ノ國

王ヲ蔑^視シ、人民ヲ苦^ムルモ、ヲ殺ス^已ニシテ
叛將^{ワット}イレル、戦没シ、逆徒勢ヲ失ヒ、賊烟忽
ニ鎮定セシカバ、英王自由ノ大^利權書^背キテ、叛
黨一千五百餘人ヲ刑シ、大ニ汚名ヲ蒙リシトゾ、
カ查^初ニシテ、叔父ノ保護ヲ受ケ、二十三歳ノ時、
始メテ、ソノ手ヲ離ル、是ヨリ後、怠慢日^日ヲ涉リ、
財貨ヲ費シ、酒色ニ溺レ、衆ノ内ニ輕侮セラル、一
千三百九十九年、カ查ノ愛^薄爾^林蘭^薄ニ之^クキヤ、叛徒
其隙ニ乘^シテ、其從弟^薄リニク^薄ク、フロク^トト喚^ハ
ル、蘭^在斯^德顯^理ヲ擁^シテ、王トナス、議院令ヲ

發シテカ查ヲ廢シ、私ニ之ヲ牢獄ニ執ス、顯理ハ
正統ノ世子ニアラザレバ、ソノ即位スルニ
當テヤ、一人モ之ニ抗スルモノナシ、蓋シ、イドワ
ル義徳モルチマル義徳モルチマハ、義徳義徳瓦身三世ノ次子ヨリ
出テ、顯理ハ、其三子ヨリ出ツルガ故ニ、繼統ノ權
理ハ、モルチマ義徳ニ在リ、モルマ義徳チ義徳ニ其後、義徳
瓦ノ第四子ヨリ出テタル、約克侯ノ族女ヲ娶リ
シカバ、益々王位ニ登ルノ權義徳アルヲ主張義徳シ、
ニ由テ、約克義徳南義徳加斯義徳後、兩党ノ乱義徳始義徳リ、
嚮ニ、顯理ヲ擁シテ、王トシタル所ノ、ホルニース、

分ハ、顯理ノ政治ヲ舉措ヲ嫌ヒ、兵ヲ舉ゲ、叛義徳ヲ作
シ、國內大ニ乱レ、約克義徳ハ、一千四百三年七月二十一
日、スリウス義徳バ義徳リ義徳ニ、一大戦ニ於テ、叛徒大ニ敗ル、
然レバ、ホルニースノ黨與、咸勤士人オレニ、グレ
ン義徳ド義徳ールナル者ノ勇威ニ由テ、叛義徳乱義徳ノ餘勢尚一
年餘程維持セ、義徳ト云ス、
一千四百十三年、顯理義徳身義徳世義徳死義徳シ、子顯理義徳第五世位
ヲ嗣ガ、初メ、新君性、輕躁ニシテ、放肆ニ執リ、衆為
ニ危懼ヲ抱キ、其位ニ即クニ及ニ、義徳直ニ、義徳日
來、邪党ヲ退ツテ、父ニ事ヘタル良弼ニ信任シ、

少時ノ放肆ヲ遏絶シ、鞠躬驅勅シテ邦國ヲ平治
シ、且、^{誠意ヲ推シテ}民ヲ保護スルヲ^{主トス}顯理又
佛國ノ大ニ乱レ且ツ其國ニ查理斯牙六世ノ急
ニ狂疾ヲ發スルヲ見テ復佛國ニエタラシム
冀ヒ三万兵ニ將トシテ、千イ望ヲ遂ゲトシ
未諾耳曼的ニ至ル^{死スモノ頗ル多ク}、大軍士病
死傷ニ僅ニ一万一千人ヲ餘ス、^{顯理}トカ尚
^{其殘兵ヲ}率オテ佛軍五万人トアジンコルトニ、戦
ヒ敵ヲ殺ス、一ノ屬トスル、一ノ方四千其公侯
貴戚ヲ生獲シテ歸ル時ニ一千四百十五年十月

二十四日ナリ、^{病里安新}

佛國ニテハ、オルレアン、バルガンジアンノ兩黨

英軍ノ國ニ臨ム^{アルコイラ}、暫ク兵ヲ解キ、

ガ其軍ノ還ルニ迄^{兩黨}、再ヒ争闘ス、^主國內

復大ニ乱ル、顯理此黨ニ乘ジ全捷ヲ收メント、故

シ^{後軍}道ヲ^轉ジテ、^又巴黎ニ戦ス、バルガンジ

アン党佛國ノ王冠ヲ顯理ヲ獻ジ、之カ為ニカラ

ズシテ、其希望ヲ登成セシムラ約ス、顯理乃チ狂

顧ナル查理斯ノ后及ビ、バルガンヂ侯ト誓ヒ、顯

理ニ查理斯ノ女^カ、^{加他隣}ニテ娶リテ、佛國ノ政ニ

豊分

冬、英王查理斯ノ死後、ソノ王位ヲ受クベキヲ約
ス、時ニ一千四百二十年ナリ、佛國ノ大民會新條
約ヲ許可シ、西土ノ諸州悉ク英ノ版圖トナル、然
レモ中央及び東南ノ諸州ハ尚佛王ノ嫡子查理
ス第七世即チ查理スノ遺子ニシテ、オムレア
ニ党ノ首魁ナル者ニ属ス、顯理王位ヲ得、
幾クテラズシテ没シ、查理スモ亦之ニ後ル、二月
一千四百二十二年ヲ以テ死セリ
英王一子アリ、年甫ノテ九歳ニシテ、王位ヲ嗣グ、
之ヲ顯理第六世ト云フ、是時ニ佛王查理ス第七

世、英ノ幼王顯理ト葛藤ヲ生ジ、佛國大ニ乱ル、是
ヨリ兩國ノ戦闘相踵ギ、英軍常ニ捷ヲ取、頗ル
舊揚ノ勢アリシガ、アリク、如安ナル一女子
リ、民向リ出テ、非常英邁ノ氣ヲ以テ、佛國
ニ起ル、當時人以此テ天コノ女ヲ下シテ、佛國ノ生
靈ヲ救護スト信ゼリ、如安自ラ神命ヲ受ルト称
シ、天使ノ真理ヲ以テ、國王僧徒貴族及び軍士ヲ
感服シ、必ズオムレアン府ノ圍ヲ解キテ、英兵ヲ
驅除シ、レームスヲ敵討、奪還シ、查理スヲ
シテ、是ニ加冠セシメ、ニテヲ請フ、佛國ハ奇事

際會^三因^二テ、コノ至危ノ大難ヲ免ルヲ得タル
コノ迷想一ハ以テ、佛國人民ノ希望ヲ振起シ一
ハ以テ、英人ヲシテ疑懼措^レ念^レ生^レガシム、如安
兵ヲ起シ、未^レ幾ナラサルニ、前日約スル所ノ
事ヲ成シ、查理斯、身^三亡^二、**跡**レ^レムスノ寺
院ニ於テ、王冠ヲ戴^ラ得^タリ、如安既ニ使車^ヲ
ヲ奏シ、旧ノ如ク、民^間ニ歸去セ^シテ、請^フト雖^レ
王^輒之ヲ聽カズ、因^テ尚軍中ニ留^リ居^ラシム
一日、英人ノ手ニ墜^ク、苛酷ノ責^ヲ受^ケテ、遂
奴^所ヲ以^テ人ヲ誘惑スルモノト見^テ做^サレ^ル元

死ニ處セラル
如安死スルニ及^ニテ、英人始^メテ年來ノ禍難ノ基
本ヲ除キタリ、然^レモ佛人如安ノ殊勳ニ因^テ、新^ク
勢力ヲ長^シ物^トコレヲ過^シムベキモノナカリ
キ查理斯、王都ヲ失ヒシヨリ、二拾年ヲ経^テ、即^チ一
千四百三十七年、始^メテ之ヲ復^スセリ、バルガニ
チアン堂モ已ニ查理斯ニ從^ヒ、佛國ノ兵乱漸^ク
角^ヲ收^メ鎮^静セ^シト、木^ノ勢^{アリ}、英兵ノ勢^衰ハ
日ニ衰^シ、一千四百五十三年ニ至^リテ、英人ノ
手ニ存スルモノハ、歐洲大陸中、僅カニカレトス

ノ一都アルノ^レ此時ヨリ、一千四百六十一年、查理斯ノ死ニ至ルマデ、佛國安寧ニシテ、嘗テ兵馬ノ警ナク、英國ニテ一却テ内訌沛起シ、國擾亂ヲ極メリ。

我レ己ニ記スル如ク、約克黨、英王ノ位ヲ希望スルスシ、英王、頗理性、軟弱ニシテ、狂癡ヲ憂ス、ソノ后、^{安如}シジヨウ^{名地}ノマルガレット、房豪ニシテ、虚譽ヲ好ミ、奸狡ニシテ、婦徳ヲ備ヘズ、頗理ノ名ヲ假リ、代テ國事ヲ執ル、英國ノ人民、女王ノ驕淫ヲ惡シ、英兵ノ佛法ニ敗ラル、ヲ耻ケ、且ツ、頗理ノ衰老

唱

千蒿薇花
一戰

^{疎慵}優情ニシテ、其德^器遠ク、約克侯カ查ニ及バザルヲ以テ、蘭加斯德^總ノ王タルヲ厭ヒ、シカバカ查ノ起リテ、王位ヲ^命贊スルニ及ニテ、黨與争フテ、之ガ應援ヲナシ、以テ^人叛^倡ノ僭首トナル、其後五年ニシテ、約克蘭加斯德ノ兩党、各地方ニ散在シ、迭ニ雄ヲ競ヒ、セントアルバンノ一戰ニ、英王、頗理軍敗レテ、擒ニセラル、約克黨ハ、白蒿薇花ヲ以テ、幟號トナシ、蘭加斯德黨ハ、赤蒿薇花ヲ以テ、幟號トナス、故ニ世此役ヲ呼ニテ、^赤黑白蒿薇ノ合戰ト謂フ。

我レ餘紙ナキヲ以テ今茲ニ戰闘始終ノ事由ヲ
詳記シテ其慘烈ナル形状ヲ載スルニ由ナレ只
我が當時ノ史家ニ聞ク所ヲ以テ臆ルニ前後三
十年間ニ七八回ノ大戦アリテ英國王族ノ死ス
ルモノハ八人英人自ラソノ邦國ヲ残滅シソノ苛
酷ナル丁英師ノ嚮ニ陣地ヲ蹂躪掃蕩スル時ノ
如シ終ニ甲勝ケ乙敗ル間ニ顯理再ビ敗レテ
擄ニセラレカ查及ビ其次子軍ニ死シ終ニ第一
回争戰ノ末ニ於テ白葛蔽花勝テ獲約克侯カ查
ノ長子義德瓦第四世英王ノ位ニ登レリ是レ一

千四百六十二年ノ事ナリ
其年佛王查理斯第七世死シ其子路易第一世位
ヲ嗣グ英王義德瓦ノ世ハ擾乱尤モ甚シク嘗テ
ビ旧君顯理當時大權勢ヲ有スルカオルウエック
侯ノカニ頼テ王位ヲ回復スルヲ得人民是ヲ以
テオオルウエック侯ヲ稱シテ立君者トナス然ルニ
其後オオルウエック侯戰没シ一千四百七十一年勇
女マルガレットノ母子戰敗レテ擄ニセラレ蘭
加斯德党ノ威カハチウケスバリノ一烈戦ニ消
尽シテ殆ンド跡ヲ存セザルニ至ルマルガレット
馬加里達

已ニ擒ニ就キテ後佛王ノ後ニ購ハレ其子ハ暗
刺セラレ死シ顯理第四世ハ擒トナリテ寵勳
ノ塔樓中ニ死ス是ニ於テ義德瓦没終ニ英王ノ
位ヲ踏メリ

英王義德瓦ハ佛王路易第十一世ト時ヲ同シテ

王位ニ居タリ路易ノ人トナリヤ苛酷残忍執
迷猜疑シテ且狡詐ナリ讎ヲ滑稽ノ風ヲ成シ巧ニ

思想ト形貌トヲ裝飾シテ其暴惡ノ性ヲ掩ス義

德瓦常テ兵ヲ以テ佛國ヲ劫シ私ニ路易ヲ誘シ

大非力ノ給料ヲ取リ及ビ其大臣ニ與ヘ以テ稍

佛國ノ攝政タルハ形状ヲ成ス是レ蓋シ二王ノ

大汚點トナリタルモノナリ一千四百八十三年

二王共ニ没シ幼主代テ各々其王位ヲ嗣グ

義德瓦年十二ニシテ父ニ繼テ英王トナリ尸位

ニ居ルヲ總ニ二月ニ出テ義德瓦ノ叔父

格羅斯德トル侯人ヲ新シテ義德瓦及ビ其身約

克復ラ塔中ニ殺シ自立シテ王トナリ力查第三

母ト稱ス然レモ英全國力查ノ奸謀トニ是絡

セラルニ至ラザルナリ蘭加斯德流ナルリ

ド侯ハ又リテウトル復王位ヲ希望シ一千四百

顯理都鐸再

利智門

顯理第七世

八十五年、カ查トボスオルスノ曠野ニ血戦シ、カ查ヲ破リ、之ヲ殺スリテ、利智門ト後、カ查ノ戦場ニ於テ被リタル王冠ヲ取リテ、直ニ之ヲ己ノ頭上ニ加ヘテ、王トナリ、顯理第七世ト號ス。顯理後ニ約克統ノ一女、以利沙伯イサベラヲ娶リテ、后トナシ、以テ約克蘭石斯德ニ黨、争競ヲ鎮一セリ、初メ、此ニ黨、亂起リテヨリ、戰碧血ヲ以テ、英國ニ西キシ、下五十餘年是ニ至テ、ソノ禍始テ止ム。

顯理第七世ノ位ニ即キシ初、子人隱謀ヲ企ツル者、愛爾蘭ニ起ル、ラムベルトラムベルトシニ子ルハ、義徳瓦、藍伯塞摩再藍伯塞摩再

尼再北

第四世ノ甥ニシテ、約克侯ノ遺子ナルオムベック侯ト諱、稱稱シ、ヘルキンオムベックハ、亦前年カ查弟三世ノ為ニ、倫敦ノ塔中ニ殺サレタル諸公子ノ一ナル約克ノ幼侯ト諱、稱稱シ、共ニ王位ヲ冀望シ、愛再蘭ニ於テ、威威カヲ得タリシガ、塞摩再塞摩再子ル、都伯林都伯リンニ於テ、王冠ヲ被リ、一千四百八十七年、戦破レテ、王衆ノ奴トナリ、徒徒其十年、オムベックオムベックモ亦王ニ降リ、東東、奸謀奸謀ヲ企テ、露露シテ、斬首斬首セラレ

顯理ノ母ニ、外國交際ニ関シテ、至要ナルモノヲ

挙グルニ、尤、如シ、顯理佛蘭西ト相約ス、二國ノ
臣下、ソノ君主ニ叛スル者アラバ、共ニ之ヲ擁護シ、
或ハ、應援スルヲ得、勿レト、顯理又、蘇格蘭ト和
親ヲ結ビ、顯理ノ長女、マルガレットヲ以テ、蘇王ニ
送、斯第四世ニ嫁ス、是ニ由テ、イリサベス以後、大
英國ノ君主ハ、悉皆此血脉ヨリ出ヅルトナレ
リ、宰臣、ソノ蘇王ト婚スルヲ惡シ、王ニ向テ此ノ
如クナレバ、我王国ヲ終ニ蘇王ノ版圖ニ歸セ
ント、抗言セシカバ、顯理答色ヲ正シテ、我ハ却テ
英、蘇ニ合スルニアラズシテ、蘇ノ英ニ歸スル

ニ至ルベシト意フ、何ントナレバ、大ハ小ヲ引ク
モノ、理ナルガ故、我ガ蘇ニ連合スルハ、佛ニ連合
スルニ比スレバ、容易ナルベシト答ヘリ、顯理
顯理ノ世ハ、英國史中、至要ノ紀元ト謂フベシ、蓋
シ、約克、蘭、和、斯、德ニ党戦血ヲ原野ニ流スト、数十
年、終ニ革命戦トナリテ、王統廢興、餘燭ノ及ブ
處、封建政治ハ、壞滅シ、諸侯貴族ハ、威カラ失ヒ、王
權ハ、少シク加ハルニ至ル、此時又近代中至重
史件、ミ、ア、ミ、リ、カニ發見セリ、中世ノ末ニ
於テ、智、術ト文明ノ一大進歩ヲナシ、政、洲、諸、大、王

國、強弱廣狹略定シテ、孫ノ今日ノ形状ヲ基礎シ、
均權ノ法制次第ニ行ハレテ、各國諸王ノ強弱抑
抑制スルニ至ル、我ガ今此時代ニ當リタル、歐洲
各國ノ形況ヲ、扼記シテ、後史ノ南嶺ヲ理解シ、易カ
ラシモノニテ、ラ故スル所以ナリ、

第二章 歐洲北部諸國ノ末

健馬 滿奧 諾威

我々ノ茲ニ先ツ着目スベキモノハ、往古ノスカ
ンデナヴィアヲ設立スル、健馬、瑞典、諾威ノ三國
ナリ、此三王國共ニ久シク、分裂ノ姿ナリシガ、第
十四回、百年ノ末ニ臨ンテ、非常ノ才器英敏ヲ以
テ、名聲ヲ四方ニ垂カシ、世喚テ、北方ノセミテ、三
スト、里ケル、健馬ノマルカレットノカニ依リテ、
カルマルニ會シ、條約ヲ訂シ、三國合シテ、一王國
トナル、蓋シカルマルノ聯合ハ、スカニテ、ナヴィア
ノ國史上ニ至要ナル一節ヲ開キ、モノナレ

此ノ盟約猶全ク固定シ難クコレヲ改正変更
セシテ數回ニシテ終ニ第十六回百年ノ初ニ英
豪ナル、^{カカス}マカス、^{ボリス}ボリス、^{トウア}トウア、^ササ、^{西班牙}西班牙ニ起リテソノ
獨立ヲ回復シニ由テ前ノ盟約ハ全ク解體シテ
用ヲ成サザルニ至レリ

魯西臣帝國

斯^{力的}の^那維^薩ナウイア國ノ東及ビ東西ニ當リテス
テ^薩サ^刺刺^尾尾ニツク種族ナルモノ群集シテ漸次ニ合シテ
魯西臣帝國トナレリ抑、魯西臣帝國ノ原由
又ルニ、一酋長リウリウクト云ヘル者アリ、英王、^西西
弗勒大帝ノ時、^中中ニ出テ始メテ此國ヲ創立セ

リ、^シシノ時ニハ其版圖、^幾幾富ヨリノボゴロトハ北
ナルドニールペルノ河岸ニ沿^沿境域極メテ狹^狹
蓋シ魯西臣國ノ歴史ハ久シク無稽ニシテ暗昧
ニ屬セシガカラスニ^史史ノ勉力考究ニ由テ大
ニ其^其其^其其情ヲ審ニスルヲ得、^第第十回百年代ニハ、^己己
ニ魯^魯魯ノ^疆疆^域域益々廣リ國威愈々盛^盛今日ソノ自
ラ誇耀スル如ク、^{歐洲}歐洲諸國中ノ至強至大ノ國ト
ナルヲ知レリ、^第第十一回、^{百年}百年ノ末頃、^{世々}世々王國
ヲ^領領テ諸王子ニ^封封スルノ法制大ニ行ハレテ禍
害ノ本トナリ、^{國內}國內ノ強威光榮日ヲ逐テ衰威ス

ルニ至ル

第十回百年ノ半ゴロ、西細亞ノ北部ニ在ル韃
靼人種、魯西亞國ノ衰乱、崩スルニ乘ジテ、コレ
ヲ吞噬シ、凡ソ二百五十年ノ間、魯西亞國、韃靼ノ
奴隸トナリ、非常ノ壓制、未縛ヲ受ケ、終ニ一千
四百四十六年頃、莫斯科侯、約翰第三世、從古
權ヲ殺ヤテ、諸王子、封地、廢法ヲ廢棄、且ツ、韃靼ノ
壓政ヲ離レ、國內ニ侵襲シタル、其餘寇ヲ驅逐シ、
以テ、魯國ノ榮誉ヲ回復セリ、約翰ハ、英明雄邁ノ
君ニシテ、從未許多ノ小侯國、之シク、王權ヲ分テ

オトカニ帝國

シモ、ラ中心ニ集合シテ、一トナシ、第十二回、百
年ノ末ニハ、魯國未ダ全クソノ旧來野蠻ノ、弊習
ヲ脱スルニ至ラザレバ、已ニ、歐洲強國中ノ一
ニ居ソナリ、又
我、第十回、百年ノ末ニ於テ、魯西亞以南ノ國
ハ、嘗テ、ジエスス、テニ、アン、希臘帝國、即チ世ニ、所謂、羅
馬東帝國ノ昌盛ナルモ、今ハ、見ル所ナキニ至ル
ヲ、覺ス、我、前ニ、十字軍、時ニ於テ、韃靼ノ種族、ナ
ル、土耳其人、ノ小亞細亞、過半、ヲ、抑有、テ
記、テ、リ、キ、第十回、百年ノ始ニ、土耳其、其ノ酋長、オ

阿多曼

ス終ニ土耳其人ヲ虜^殺シ、^巴バジャセツトラ獲タリ、^膏帖
木耳、勢ニ乘シテ、^巴歐羅巴ヲ席卷セントセシガ、^膏帖
木耳ハ、韃靼、德萬ノ騎士ノ主帥ニシテ、一戦艦ノ
督將タル^器ヲ^痛ズ、^巴和之ナラズ、ホスホラス、ヘル
レスポントノ二道ニ於テハ、^巴耶蘇教人、土耳其人
ト謀リ、旧怨ヲ捨テ、^巴業ト同心、^巴カミテ、^巴強教ヲ
沮塞セシニ由リテ、^巴遠征^カヲ^成ラズ^カニ^合テ、^巴是^カ後^カ、^巴帖木耳、^巴回
ヲ^十周年^カ後、^巴支那ヲ討^カタントシテ、^巴軍ヲ進^カル
時ニ病ニ罹リテ没ス、^巴年二十九^カ、^巴録^カ蹟^カ
土耳其帝國、一旦^巴帖木耳ノ為ニ^巴滅^カセテ^巴レシガ、^巴直ニ

其國勢ヲ振起セシノミナラス、一千四百五十三
年、^マ摩^ホ多^ノ哈^ト第三世、兵ヲ出シテ、^巴君士祖丁堡ヲ攻メ、
其年、五月二十九日ヲ以テ、之ヲ陷レ、^巴軍士爭テ
侵暴殘威^カ、^巴推^カシ、^巴希臘帝ノ^巴孽子ハ、^巴戦ヲ先ツ死シ、
住民ハ降テ奴隸トセラレ、^巴君士祖丁堡ノ^巴景況蕭
條トシテ、一時ノ間、^巴君主モ人民モナカリ、^巴土耳
其帝、因テ、^巴帝居、^巴在昔、^巴ユンス^カニ^巴ケシ、^巴ノ^巴揮ビタル
要勝ノ地、^巴即チ^巴君士祖丁堡ニ^巴構ヒ、^巴世々^カ子孫ヲシ
テ、^巴必^カ所ニ^巴任セシム、^巴希臘及ビ^巴羅馬ノ^巴遺址^カハ、^巴尽ク
土耳其帝國ノ版圖ニ没入シ、^巴第十五回、^巴百年ノ末ニ

波蘭

土耳其帝國全ク歐洲ニ據有スルノ勢トナレリ
第十五回百年ノ末ニ北歐ノスカンデナヴィア
國及び魯西亞ハ恰モ別世界ヲ成スガ如ク自餘
歐洲ノ諸國ト和戰相関セザル間ニ往古ノサル
マシアルナル波蘭國ハスラホニア及び日耳曼
種後ヲ聯結シテ日々ニ富強ノ勢ニ趨ケリ波蘭
一歴史ハ第十回百年ヲ以テ始トナセ凡其國
繁栄ニ趨キシハカシマヤル大王人波蘭ニテ
萬トス一千三百一十六年リソウニア波蘭ニ
内附シ其明年ノ半ゴロニ波蘭王ウラヂスラス

匈牙利ノ為ニ土耳其ノ入寇ヲ防禦セシ賞トシ
テ匈牙利ノ冠ヲ受タリ然レモ幾ナラザルニ匈牙
利復日耳曼國ニ歸スルトナル日耳曼ノ武士
ハ十字軍ノ時ヨリソノ一部ナル普魯西ニ於テ
方サニソノ勢カヲ得タリシガ波帝カシマイル第
四世教ノ戰テ之ヲ破リ普領ノ太半ヲ波蘭ノ版
圖ニ加ヘ土耳其ノモルダビア州モ亦之ニ歸ス
第十五回百年ノ末ニ波蘭國ツノ強盛ヲ波及シ
波羅的海ヨリウキシニ至リテ歐洲文明
諸國ノ境外ニ鋪以テ蛮夷ノ歐洲ノ西部ニ向テ

日耳曼帝國

陸梁スルモノ、一、**大**要案冊トナリ又、**法**

第十五回、百年ノ末ニ、日耳曼帝國ハ、佛蘭西及

ビ、波蘭ノ間ニ在ル州郡ノ大半ヲ總括シ、施テ

萊茵河ノ西、**リ**至リ、中央歐洲ノ全土ヲ

領ス、蓋シカルロビンジアニ統ナル日耳曼ノ

君主ハ、**ホ**世襲ナリシガ、八百八十七年ノ頃、

中、**リ**國ノ大臣相謀テ、ソノ帝ヲ廢シ、別ニ一君

ヲ擁立ス、コノ遑遑ナル時代ヨリ、後日耳曼ノ

帝王ハ、**世**擧ノ**リ**トナレリ、

日耳曼國ハ、巨大ナル州郡ヨリ、諸侯伯ノ都市城

邑ニ至ルマテ、其數枚擧シ難ク、或ハ其州郡ハ、婚

姻條約攻伐等ニ由テ、數ニ伸縮シ、且ツコレヲ聯

結スル契約ハ、大ダ薄弱ニシテ、諸侯各ニ私利ヲ以

テ、迭ニ爭鬪シ、或ハ帝王ニ背叛シ、是ニ由テ、日耳

曼ノ史記ハ、事實大ニ錯亂混淆シ、**リ**世道ヲ益

シ、人心ヲ惑スルモノ歎シ、日耳曼ノ州郡、多クハ

帝王ノ外別ニ君主アリテ、之ヲ統治ス、年十四回

百年ノ中央、**リ**北、日耳曼ニ三疆國起リテ、殆ン

ト、自餘ノ諸國ヲ併吞ス、其一ヲ、**ル**キセニバルグ

盧森堡

波希米亞

摩拉維亞

細拉西亞

ト曰フ、ホヘミアモラビア及ビシレシアノ一部
ト、ルーサシアヲ領ス、其二ヲ、巴威里亞バリアト曰フ、的羅里テレンバルグ、荷蘭ホルランド、及ビタイロルヲ領
ス、其其三ヲ、澳地利オーストリアト曰フ、許多ノ世襲地、
外ニソウビアン、巨大ノ地カヲ領セリ、

一千四百三十八年、日耳曼ノ諸侯、澳地利オースタリノ公子
ヲ獲テ、帝トナス、是後、澳地利オースタリノ公子、多クハ、日耳
曼ノ王位ニ登ルトナレリ、第十五回、百年ノ末
ニ、澳地利オースタリノ公子、マキシミリアンノ帝タリシ時、日
耳曼ノ國風大ニ交換シ、古來科闘小戦ハ、由來國法ノ

瑞西

許セシ所ニシテ、諸小國迭ニ争闘スルトヲ以テ
ソノ自由ヲ防禦スルノ策トナセシモ、今ハ審
判官ヲ置テ、其曲直ヲ斷決スルニ至レリ、一千
百九十五年、ウオルムス三大會議ニ於テ諸國共
ニ永久平和ノ約ヲ結ビ、抑壓暴乱奪掠ハ國法ニ
照準シテ、之ヲ處スルトナリ、是時、初テ日耳
曼國用、國太平ノ基ヲ建ルニ至ル
第十四回、百年ノ初暮ニ先ツ、瑞西國瑞西國全
日耳曼ノ一部ニ屬セシガ、一千三百七年、亞拉伯アル
ベルト、澳地利オースタリノ王位ヲ奪テヨリ、亦此蠻國ノ

中人ヲ已ノ有トナサント謀ル澳太利ノ歴制愈
 甚シ^カカリシカバ諸州ノ人民ルタリ^カ相會シテ
 盟約ヲ結ビタリキ時ニ豪勇ナル内井リアムテ
 ルノ有名ナル詩註^詠新ニ感觸才ヲ自由ノ原因ニ
 咲ヘタリ一千三百八年アライスクワイツ及び
 アントルウオルデンノ諸州聯合シテ自由ノ干
 戈ヲ勤シソノ暴君ヲ國外ニ驅逐シ一千三百十
 五年瑞西人モルガルトンニ於テ澳太利人ヲ伐
 テ大ニ之ヲ破リ一千三百八十九年又伐テ大ニ
 之ヲ破ル然レモ瑞西ノ日耳曼帝國ノ版圖ヲ脱

以太利ノ歴史

スルハ身十五回百年ノ末ニ有名ナルソウピア
 シノ戦ニ於テ澳太利ノ兵前後大敗シ帝マキシ
 ミリアン和ヲ請テ退ンキシ時ヲ以テ始トス蓋
 シ此役ハ瑞西黨典ノ嘗テ自由ヲ得ル最後ノ戦
 シテ此後一千四百九十九年マキシミリアント
 和議ヲ講セシヨリ瑞西國始テ獨立ノ勢ヲ固ク
 スルヲ得タリ
 中古ノ中央^半ガロ^ロナル時代ノ間以太利ノ形状ハ已ニ
 記シタリ^カ是時ノ末ニ以太利國^意ノ日耳曼
 帝國ノ一部分タリシト人雖モ日耳曼帝ノ權威

ハ、**静**ニ數百年ノ前ヨリ消滅シ、帝ハ只即位ノ禮
ヲ行ヘ、**丹**リロンバルド臣下ノ之ニ服從スルノコトナリ、
第十二十三回百年代ニ无教ノ共和國、以**大利**ニ
創立シ、**各**不羈自由ノ精神ヲ養成シ、一時頗ル
非常ノ**繁榮**ニ趨キシガ、終ニ党派分裂、迭ニ争鬪
シ、**甲**勢ヲ失ヒ、乙之ニ代リ、國中ノノ壓制ヲ蒙ラ
ザルモノナリ、**第**十五回百年ノ初ニ其兵難ヲ免
ル、モ、**ハ**、**獨**、**フ**、**ロ**、**レ**、**ン**、**ス**、**セ**、**ナ**、**ア**、**ベ**、**ニ**、**ス**、**等**、**ノ**
コ、**ロ**、**ン**、**レ**、**デ**、**ー**、**ノ**、**都**、**市**、**及**、**ビ**、**共**、**和**、**國**、**ヲ**、**シ**、**ハ**、**日**、**耳**
曼、**帝**、**ノ**、**附**、**庸**、**地**、**ナ**、**ル**、**ニ**、**蘭**、**ノ**、**侯**、**主**、**ノ**、**為**、**ニ**、**取**、**ラ**
倫、**破**、**底**、**都**、**市**、**及**、**ビ**、**共**、**和**、**國**、**ヲ**、**シ**、**ハ**、**日**、**耳**
米、**蘭**、**ノ**、**侯**、**主**、**ノ**、**為**、**ニ**、**取**、**ラ**

ニケリ

フ、**ロ**、**レ**、**ン**、**チ**、**ン**、**人**、**木**、**製**、**造**、**貿**、**易**、**ヲ**、**盛**、**大**、**ニ**、**シ**、**テ**、**ソ**
ノ國ヲ屬シ、**第**十二回百年ノ末、**ヨ**、**リ**、**其**、**後**、**殆**
ンド二百五十年間共和政ヲ以テ國ヲ治メケリ、
セ、**ノ**、**ス**、**人**、**ベ**、**子**、**シ**、**ア**、**人**、**共**、**ニ**、**貿**、**易**、**ヲ**、**レ**、**バ**、**ン**、**ド**、**及**、**ビ**、
地、**中**、**海**、**ニ**、**競**、**争**、**セ**、**シ**、**ガ**、**終**、**ニ**、**ベ**、**子**、**シ**、**ア**、**人**、**勝**、**ヲ**、**得**、**テ**、**獨**、
海、**上**、**ノ**、**航**、**權**、**ヲ**、**專**、**ラ**、**ニ**、**セ**、**リ**、**以**、**太**、**利**、**共**、**和**、**ノ**、**諸**、**國**、**中**、
ニテ、**セ**、**ノ**、**ア**、**國**、**最**、**モ**、**内**、**訖**、**ヲ**、**以**、**テ**、**擾**、**乱**、**ヲ**、**極**、**ハ**、**セ**、**リ**、
ス人ハ浮薄剽軽ニシテ、國君ノ廢立止ムコトナシ、
第十五回百年ノ末ニ、**セ**、**ノ**、**ア**、**國**、**ニ**、**ラ**、**ン**、**侯**、**國**、**ノ**、**屬**

地トナリ其後再び獨立ノ藩然ヲ復スルヲ得タ

威内斯

我ガ前ニ詳説シタルベニス國ハ近世歐洲ノ著

名ナル貿易市場ノ最モ早ク且ツ父キモノナリ

ベニス人昔時ニ在リテ君士坦丁堡及ビ自餘東

國ノ諸市ト通商ヲ始メ十字軍ノ起リシ時船艦

ヲ出シテ之ヲ給助シ為ニ其富ヲ増殖シ其貿易

産業ヲ弘擴ス第十五回百年ノ末ニ臨

ハクレシトシポラス及ビモア即チ南希臘及

倫破底ノ富饒ナル諸國ヲ除ク外ベニス國

ビイジアシ海ノ諸島ヲ管領スルニ至ル此時ニ

當リテ以太利州ノ權勢ヲ領キ占ルモノハ僧侶

ト好ナブルノ王ナリサレニ僧侶ノ米邑ハ細微

ニシテ耳王ノ米邑ハ外國ノ君主以テ利ノ

諸州相抗争シテ和セザルノ釁ニ乘シ外國君主

攻撃シケルニ因リテ他人ノ有トナリケリ一千

五百年西班牙王ヘルタナンド子ノ人右有セル

佛蘭西ヲ奪リ西班牙ハ本己ニ西細里及ビ

サ撒地ニアヲ押領セシガ此時ヨリ後百有餘年

ノ間至重ノ權威ヲ以太利國ニ逞ケセリ

西班牙

我レ眼ヲ轉ジテ、西班牙ヲ見ルニ、茲ニ第十回、
 百年ノ始ニナバル、所刺略アテゴシ、オスタイルノ三耶蘇
 教王國、相爭鬪シ、人國內一和セザル、法再的難良又
 シカリシガ、一千五百七十四年、法再的難ホルゲナンド、星震牙
 五世、アラゴンノ王位ニ登レリ、法再的難ホルゲナンド、星震前
 ニオスタイル、依撒伯侯女、イサベラヲ娶リ、ルニ由テ、故ニ
 耶教ナル他ノ二強王國是ニ於テ合シテ一トナ
 ル、初メ、西班牙人其境内ヨリ、依撒伯噶囉人ヲ驅逐セシト
 一、謀ルハ、法再的難シカリシガ、一千四百八十一
 年、依撒伯ホルゲナンド、依撒伯イサベラト、依撒伯此謀ニ從事シ、

葡萄牙

十年ノ悠久ナル歲月ヲ、事戰ニ費シ、漸ク噶囉ノ
 京城、加程合水ダラナダヲ圍ム、終ニ一千四百九十二年一
 月、加程合水ダラナダ城陥リ、西班牙半嶋ニ在ル、撒拉セニ
 國漸滅ス、亡國裔相踵グ、八百十年ナリ、撒拉一千五百十
 二年、法再的難ホルゲナンド、法再的難ナバルヲ攻テ、之ニ勝テ、撒拉斯
 淋、淋西班牙全國一政府ノ下ニ歸スルニ至ル
 第十一回、百年ノ末、西班牙人ノ噶囉ヨリ取り
 タル、良葡萄牙ノ辺地ハ、良オシ、及ビカスタイルニ
 属スル一侯國トナリシガ、第十二回、百年、良独立
 シテ、自主國トナリ、第十三回、百年ノ始、良ソノ疆

字成今日ノ成ニ至レリ、葡萄牙ノ史記ハ其古初考
フルニ、足ルモノナカリシガ、其國人ノ首トシテ、
航海發見ノ方策ヲ振興、其書卷ヲシテ、千載不
朽ニ流傳セシムル時ヨリシテ、大ニ見ルベキモノ
アリ

第三章 發見ノ支

茲ニ、第十五回百年ニ前發見セ、羅馬帝國ノ滅亡ヨリ、暗世相續ス、
此章大、羅馬帝國ノ滅亡ヨリ、暗世相續ス、
此文運、回、運ニ至ルマデ、航海ノ術ハ一モ進歩
スルコトナク、古未知リ得タル地理ノ畧説モ亦此

時ニ失レ、タリシガ文化ノ再光輝ヲ救テヨリ、
通商ノ術再興、復シ、ベニス、ピサ、ゼノア、如、
キ、以、太利ノ諸州、此ガ先導者トナリ、終ニ、商業ヲ
勦勵スルヲ、精神ヲ以テ、世ノ為ニ、稱セラル、羅緘
發明ハ、航海上ニ、大勢ヲ、如、此時ニテハ、舟
子陸地分界標ヲ越テ、遠ク出ヅルヲ、恐レシガ、今
ハ、舟子此器械ノマルヲ以テ、遠ク海岸ヲ、占リテ、
舟ヲ泛ベ、救テ、ソノ危難ヲ疑フコトナシ、又印刷
術ノ創製マリテ、地理學、航海學ノ新ニ、發明シ、
タルモノヲ、廣ク四方ニ播布スルヲ得ルニ至ル

第十四回百年ニ^{ホトケ}吉嶋ト呼バレタル^{カナナリ}嶋邊

佛船ノ暴風ニ由テ^{ホトケ}彼所ニ漂ハケレタル^{ニ由リ}

再ビ發見セラレタリ^{ホトケ}斯クアル中ニ^{カナナリ}葡

牙人ハ最大ノ熱心ヲ以テ^{ホトケ}當時發見ノ競場ヲ^{カナナリ}推

死セリ^{ホトケ}ケレボスドルハ^{ホトケ}前^{カナナリ}阿非利加海岸

通行ニナラサル^{ホトケ}極界ト見做シ^{カナナリ}置カレシモ

約翰第一世ノ子^{ホトケ}顯理ノ^{カナナリ}幼ニ由テ^{カナナリ}此ニ^{カナナリ}航海スル

タリ^{ホトケ}ケレプテ^{ホトケ}マルド^{ホトケ}及ビ^{ホトケ}アゾール^{ホトケ}嶋モ亦^{ホトケ}發

見セリ^{ホトケ}蓋シ^{ホトケ}一千四百十六年ヨリ^{ホトケ}一千四百十

間ニ^{ホトケ}ケレプテ^{ホトケ}ラヨリ^{ホトケ}ケレプテ^{ホトケ}マルドニ

blanco

至ルマデ^{ホトケ}亞非利加^{ホトケ}港^{ホトケ}ニ^{ホトケ}多ク^{ホトケ}ハ^{ホトケ}査^{ホトケ}鑿スル所^{ホトケ}ナ

顯理^{ホトケ}亞非利加^{ホトケ}ヲ^{ホトケ}周航シテ^{ホトケ}便道ニ^{ホトケ}因リ^{ホトケ}輕費ヲ^{ホトケ}以

テ^{ホトケ}印度ニ^{ホトケ}達シ^{ホトケ}此^{ホトケ}沃饒ナル^{ホトケ}地方ニ^{ホトケ}於テ^{ホトケ}以太利人

ノ^{ホトケ}專有スル^{ホトケ}商權ヲ^{ホトケ}奪取シ^{ホトケ}其^{ホトケ}商權^{ホトケ}ヲ^{ホトケ}自國ニ

移サント^{ホトケ}以^{ホトケ}ル^{ホトケ}重大ナル^{ホトケ}法^{ホトケ}策ニ^{ホトケ}心ヲ^{ホトケ}尽セシガ^{ホトケ}不幸

ニ^{ホトケ}シテ^{ホトケ}ソノ^{ホトケ}大業^{ホトケ}未^{ホトケ}カ^{ホトケ}成ラ^{ホトケ}ズ^{ホトケ}ル^{ホトケ}前^{ホトケ}死^{ホトケ}シ^{ホトケ}リ^{ホトケ}然^{ホトケ}レ

顯理^{ホトケ}發見^{ホトケ}後^{ホトケ}事^{ホトケ}アル^{ホトケ}ノ^{ホトケ}功^{ホトケ}徳ニ^{ホトケ}目テ^{ホトケ}ソノ^{ホトケ}名^{ホトケ}譽^{ホトケ}大

ニ^{ホトケ}著^{ホトケ}ハレ^{ホトケ}テ^{ホトケ}學者^{ホトケ}好事^{ホトケ}家^{ホトケ}冒險^{ホトケ}者^{ホトケ}各^{ホトケ}々^{ホトケ}葡^{ホトケ}葡^{ホトケ}人^{ホトケ}ノ^{ホトケ}發見

ニ^{ホトケ}依^{ホトケ}テ^{ホトケ}其^{ホトケ}知識^{ホトケ}ヲ^{ホトケ}増シ^{ホトケ}且^{ホトケ}ツ^{ホトケ}其^{ホトケ}ニ^{ホトケ}其^{ホトケ}計^{ホトケ}ニ^{ホトケ}從^{ホトケ}テ^{ホトケ}行^{ホトケ}ク^{ホトケ}セ

第十四回百年、^{ホムケチ}鳥呼バレタル、^{カナナリ}鳥邊
佛船ノ暴風ニ由テ、^{ホムケチ}彼所ニ漂ハケレタル、^{ニ由テ}
再ビ發見セラレタリ、斯クアル中ニ、^{カナナリ}葡
牙人ハ最大ノ熱心ヲ以テ、當時發見ノ競場ヲ雄
死セリ、^{カナナリ}アボスドルハ、^{カナナリ}阿非利加海岸、
通行ニナラサル極界ト見做シ置カレシモ、
約翰第一世ノ子、^{カナナリ}顯理ノ幼ニ由テ、此ニ航遊スル
タリ、ケープテヤルト、及ビ、^{カナナリ}アゾール、^{カナナリ}嶋モ亦發
見セリ、^{カナナリ}蓋シ、一千四百十六年ヨリ、^{カナナリ}一千四百十
年、^{カナナリ}ケープテヤルトヨリ、ケープテヤルトニ

至ルマテ、^{カナナリ}亞非利加港ニ多クハ、^{カナナリ}查鑿スル所ナ
リ

顯理、^{カナナリ}亞非利加ヲ周航シテ、便道ニ因リ、^{カナナリ}輕費ヲ以
テ、^{カナナリ}印度ニ達シ、^{カナナリ}此沃饒ナル地方ニ於テ、^{カナナリ}以太利人
ノ專有スル高權ヲ奪取シ、^{カナナリ}其高權ヲ自國ニ
移サントスル、^{カナナリ}重大ナル^{カナナリ}法策ニ心ヲ尽セシガ、^{カナナリ}不幸
ニシテ、^{カナナリ}ソノ大業未ダ成ラズ、^{カナナリ}前死シ、^{カナナリ}然レ
顯理發見ノ後、^{カナナリ}事アルノ功徳ニ目テ、^{カナナリ}ソノ名譽大
ニ著ハレ、^{カナナリ}學者好事家、^{カナナリ}冒險者各、^{カナナリ}葡葡人ノ發見
ニ依テ、^{カナナリ}其知識ヲ増シ、^{カナナリ}且ツ、^{カナナリ}其^{カナナリ}計ニ從ヒ、^{カナナリ}其力

トテリスボンニ往ク、^{里斯本}セノアノ土人ナルクリス
トハルコロンボス亦、^{閩能}此中ニ在リ、^{熱那}又一千四百七
十年ニ波所ニ達セリ、^{閩能}コロンボス已ニ地中海ラ
周航シ、^{氷洲島}アイスランドラ特覽シ、大ニ海中ノ幸^{實況}
ヲ請シ、^{葡葡人}葡葡人ニ伴フテ、^{航スルヲ得}グウェーニア、及ビ^亞
非利加諸嶋ニ向テ、^廣發^{航スルヲ得}當時人皆道ヲ西非弗
利和ノ南岸ニ取リ、^日日通ス、^{漸ク}漸ク印度ニ
至ラントスルニ、^{閩能}コロンボス豪膽壯勇ニシテ、^{直チ}
ニ、^絶大西洋ヲ横越シ、^道道ヲ西方ニ取リ、^地彼地ニ達
セシトテ、^希希望ス、^{蓋シ}此時、^{地球}地球ノ圓體ナルヲ

知キトテ、^{閩能}コロンボス自ラ固ク我地球ハ周航
セラルベキモノナルヲ信スリ、
コロンボス漸次ニ理学ノ奧妙ヲ探究シ、^終終ニ貧
苦ヲ忍ビ、^艱艱楚ヲ經テ、^諸諸國ニ游航シ、^{コレ}コレガ保護
ヲ請ヒシガ、^{當時}當時ノ人皆无學ニシテ、^旧旧僻ニ汨シ、
自ラ其固陋ヲ^甘甘シシコロンボス爲ニ、^鄙鄙笑擯斥
セラレ、^空空シク数年ノ星霜ヲ徒費セシガ、^終終ニ其
説行ハレテ、^大大ニ旧世界ニ^伯伯仲シ、^前前ニ文明國民ノ
知^{タル}タル所ノ地球ヨリ、^{大洋}大洋ヲ以テ分界ス
ル一ノ新世界ヲ發見セリ、^今今世史中、^餘餘地ナクシ





